

理学研究科・理学部の院生・学生の皆さんへ  
大学院教育改革支援プログラム  
「科学基礎論」講演会開催のお知らせ

科学アウトリーチの戦略  
ー「伝える」から「伝わる」へー



かまた ひろき

**鎌田 浩毅 先生**

(京都大学大学院 人間・環境学研究所 教授)

日時: 2008年10月3日(金)

16:20~18:20

場所: 地学・生物共通講義室

<講演内容: 鎌田先生より>

理系の分野ではアウトリーチ(啓発・教育活動)が大問題となっています。アウトリーチには、1 研究資金の獲得、2 後継者の育成、3 一般社会への認知、といった目的がありますが、地球科学ではいずれも緊急課題です。地震・火山噴火・地球温暖化など、社会が直面する問題と直接取り組まなければならないからです。

ついに私はアウトリーチの方法論自体を、自分の研究テーマにしてしまいました。というのは、片手間で達成できるものでは決してないからです。その結果、火山学者としてアウトリーチへ全精力を注ぐ覚悟を決め、「科学の伝道師」という生きかたを選びました。モットーは「面白くてタメになる」です。

講演では、これまで私が行ってきた啓発書の執筆・講義・講演・テレビラジオへの出演などのアウトリーチ体験をもとに、教育・研究・広報や自然災害の減災のありかたの提言をします。キーワードは、市民と科学者をつなぐ「ブリッジマン」です。「伝える」から「伝わる」へ」という転換によって、科学をとりまく状況を明るく変えたいと考えています。

<講師紹介>

1955年生まれ。東京大学理学部地質学科卒業。通産省地質調査所、米国カスケード火山観測所などを経て1997年より現職。専門は火山学。日本火山学会理事、気象庁活火山改訂委員、内閣府災害教訓継承分科会委員、原子力環境機構国際有識者会議委員などを歴任。『火山はすごい』(PHP新書)、『地球は火山がつくった』(岩波ジュニア新書)、『成功術 時間の戦略』(文春新書)、『ラクして成果が上がる理系的仕事術』(PHP新書)、『火山噴火』(岩波新書)、『富士山噴火』(講談社ブルーバックス)など著書多数。12月に『ブリッジマン』(講談社現代新書)を刊行予定。

NHKテレビ「爆笑問題のニッポンの教養・京大スペシャル」・日本テレビ系「世界一受けたい授業」・テレビ朝日系「ジキル&ハイド」をはじめテレビ・ラジオへの出演・新聞雑誌での紹介も多数。「現役学生2000人が選んだ面白い自慢の講義」(週刊文春)に選ばれるなど、「科学の伝道師」としての名講義は有名。日本地質学会論文賞(1996年)、日本地質学会優秀講演賞(2004年)を受賞。 URL: <http://www.gaia.h.kyoto-u.ac.jp/~kamata/>

2008年9月

理学研究科 大学院教育改革支援プログラム  
「理学の実践と応用プロ」委員会 委員長  
問い合わせ先: 大学院教務係(795-6351)